

科目名	判断推理 I	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Judgment and Inference I	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	楠山大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	数理論理学の基本を理解し、論理式の操作に習熟する。		
到達目標	主として、公務員試験の判断推理における論理・集合の問題が解けるようになる。		
授業概要	<p>日常会話でよく「もっと論理的に話してください」などと言われることがあります。でも、「論理的」であるとは、そもそも一体何でしょうか。「論理的」と「非論理的」の境界はどこにあるのでしょうか？本講義では、数理論理学の基本を学ぶことによって、「論理的」であることはどういうことなのかを理解し、論理的推論に習熟することを目指します。</p>		
授業計画			
第1回	ガイダンス、論理とは何か？		
第2回	論理記号を読めるようになる		
第3回	論理式の真偽		
第4回	必要条件と十分条件、対偶		
第5回	言語と推論		
第6回	等しいとはどういうことか？		
第7回	命題論理と述語論理		
第8回	中間テスト		
第9回	自然演繹		
第10回	三段論法		
第11回	集合(1) 集合の概念		
第12回	集合(2) 部分集合		
第13回	日常言語に関する問題(1) 暗号		
第14回	日常言語に関する問題(2) 嘘をついているのは誰か？		
第15回	総まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	<p>1. 授業前にプリントの問題に目を通してください。解ける問題、解けない問題を明確にしてください。(2時間程度)</p> <p>2. 授業後に、プリントの復習をしっかりと、すべての問題を解けるようにしてください。(2時間程度)</p>		
履修条件 受講のルール	<p>基礎数学Iを履修済み、もしくは同時履修が望ましい。</p> <p>公務員試験合格及び数理論理学の基本の習得を目指している人のみを対象とします。</p>		
テキスト	中島匠一(2012)『集合・写像・論理 数学の基本を学ぶ』共立出版		
参考文献・資料	小島寛之(2017)『証明と論理に強くなる』技術評論社		
成績評価の方法	<p>【中間テスト(40%)、定期試験(60%)】</p> <p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <p>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを行います。
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・金曜日 10:40～12:10</p> <p>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>平成28年度(2016)以降入学した学生</p> <p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度(2015)以前に入学した学生</p> <p>優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>公務員試験をきっかけにして、論理的とはどういうことか考えてください。</p>